

第二期 下野市まち・ひと・しごと創生総合戦略

評価分析シート

令和4年度実績

【評価分析シート(例)】

重要業績評価指標(KPI)	基準値	年度目標値					
		基準値	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
〇〇〇〇活用件数 (項目の説明)	1件	目標値	4件 (延4件)	4件 (延8件)	4件 (延12件)	4件 (延16件)	4件 (延20件)
	最終目標値	実績値	4件 (延4件)	4件 (延8件)	6件 (延14件)		
	延20件	達成度	A	A	A		
1 令和4年度の実績と実績値の分析 及び今後の取組	令和4年度は、広報誌への掲載、ホームページの情報更新、PRチラシの配布など周知活動に力を入れた結果、年度目標を超える6件の活用があった。今後は、市内での活用事例の紹介なども行うなど、周知活動に継続的に取り組むとともに、制度の見直しなどを図りより利用しやすい制度にしていき、目標値達成に努める。						
担当課	〇〇課						
備考							

総合戦略における基準値及び令和6年度の最終目標値

令和6年度の最終目標値達成に向けた各年度の目標値及び実績値

【年度目標値】
目標値(令和6年度)達成に向けた各年度の目標値

【実績値】
各年度末での実績値(本年は令和4年度について記入)

【達成度】
年度目標値と実績値をもとにした各年度の達成度
※延数がある場合には、延数の年度目標値及び実績値により評価するものとする。

【令和4年度の実績と実績値の分析及び今後の取組】
令和4年度の実績とそれに伴う実績値の分析、それらを踏まえて今後どのような取組を行うのかについて。

【備考】
過年度における修正内容、今年度における修正(案)などについて掲載。

達成度	評価基準
A	年度目標に対する進捗状況が 100%以上
B	年度目標に対する進捗状況が 80%以上、100%未満
C	年度目標に対する進捗状況が 50%以上、80%未満
D	年度目標に対する進捗状況が 50%未満
—	数値化できないもの
達成済	計画の策定や施設の整備など、過年度においてすでに目標値を達成したもの

進捗状況 = 実績値 ÷ 年度目標値 の数値(%)

※ただし、KPIの目標値が基準値より数値を下げる項目においては、
年度目標値 ÷ 実績値 の数値(%)

基本目標① 「魅力的で安定した雇用を創出する」

数値目標	基準値	実績値				目標値 令和6年
		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
生産年齢人口の割合	62.7% (令和元年における推計)	61.9%	61.5%	61.2%		60.8%
【数値目標の説明】 少子高齢化が進行し、また市の人口が減少すると予測される中において、人口ビジョンの将来展望が示す生産年齢人口割合の維持を図る。	【令和5年3月末日】36,564人) ÷ (下野市総人口 59,741人) = 61.2% ※栃木県毎月人口調査報告書(令和4年10月1日現在の数値)によると、栃木県全体では58.4%であり、下野市(60.5%)は県内5位である。					
市内事業所における従業者数	24,295人 (H26 (2014)年)	—	—	—	—	24,485人
【数値目標の説明】 市内事業所に勤務する従業員数(経済センサスー基礎調査)の増加を図る。	経済センサスー基礎調査は令和6年度実施予定					

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	年度目標値					
		年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
制度融資新規活用件数	163件	目標値	170件	180件	190件	195件	200件
	最終目標値	実績値	183件	122件	65件		
	200件	達成度	A	C	D		
1	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	令和2年から続くコロナ対策融資制度を国、県及び市が継続して提供していることや、物価高騰対策による国の有利な制度を利用していることなどから、新規の融資利用者が減少している状況にある。 今後も利用者が制度活用できるよう継続して制度周知を図る。					
	担当課	商工観光課					
	備考						
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	年度目標値					
空き店舗奨励金等活用件数	4件	目標値	延3件 (年間3件)	延6件 (年間3件)	延9件 (年間3件)	延12件 (年間3件)	延15件 (年間3件)
	最終目標値	実績値	延4件 (年間4件)	延9件 (年間5件)	延11件 (年間2件)		
	延15件	達成度	A	A	B		
2	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	商工会を通じて、制度周知のガイドブックを継続的に配布している。また、創業塾で制度紹介を行った。さらに、資金提供の窓口となる金融機関において制度活用の斡旋を行っている。 引き続き制度の周知及び活用を続け、認知度の向上を図る。					
	担当課	商工観光課					
	備考						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
3	雇用奨励金活用件数 (市民居住労働者の雇用促進のための奨励金の活用件数)	7件	目標値	延4件 (年間4件)	延8件 (年間4件)	延12件 (年間4件)	延16件 (年間4件)	延20件 (年間4件)
		最終目標値	実績値	延10件 (年間10件)	延13件 (年間3件)	延19件 (年間6件)		
		延20件	達成度	A	A	A		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	雇用奨励金制度周知のため、商工会会員あてに制度紹介を継続的に行っているほか、金融機関にパンフレット設置を依頼し周知を図っている。						
	担当課	商工観光課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
4	創業資金利用件数 (創業・女性企業家資金の活用件数)	3件	目標値	延4件 (年間4件)	延8件 (年間4件)	延12件 (年間4件)	延16件 (年間4件)	延20件 (年間4件)
		最終目標値	実績値	延4件 (年間4件)	延10件 (年間6件)	延14件 (年間4件)		
		延20件	達成度	A	A	A		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	令和4年度の創業資金相談については、相談件数が多くない中でもコンスタントに融資利用者を受け付けている。 また、令和4年度から栃木県の支援を受けて開始した創業プロデュース事業では、市内の創業希望者に対する伴走型の支援や創業環境の整備を進めており、創業者数の増加とそれに伴う当該資金の利用増加が期待される。						
	担当課	商工観光課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
5	市内農産物直売所の販売額	9億円	目標値	9.4億円	9.8億円	10.2億円	10.6億円	11億円
		最終目標値	実績値	8.8億円	9.0億円	8.8億円		
		11億円	達成度	B	B	B		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	各地域に直売所施設がある一方で道の駅やゆうがおパークなど同様の大型直売施設もあり、小規模店舗などで販売額が伸び悩み目標を達成することができなかった。 農政課主体のイベントなどの会場として、道の駅やゆうがおパークを活用することにより集客に努めた。 今後は、競合する施設も増える中、地域の消費者ニーズに合った品揃えや新たな魅力ある農畜産物や加工品の開発などを積極的に行うと共に、市内直売所のPR、周知に努め、販売額増加を図って行く。						
	担当課	農政課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
6	地域の担い手となる認定農業者数 (農業経営の目標に向け、自らの創意工夫に基づき、経営の改善を進めようとする計画が認定された農業者数)	290人	目標値	292人	294人	296人	298人	300人
		最終目標値	実績値	293人	296人	298人		
		300人	達成度	A	A	A		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	農業者が減少する中、現行の農業者の中から地域の担い手となる認定農業者の掘り起こしを行い、認定新規就農者から認定農業者になる橋渡しを積極的に行った結果、目標人数を達成することが出来た。しかしながら認定農業者の高齢化に伴い、農業経営をリタイヤする農家も増えていることから、大幅に数を増やすことが難しい現状がある。今後も認定農業者へなることへの利点を十分に説明し、これまでの取り組みに加え親元就農者等への共同認定の案内等を行うことにより、認定農業者数の増加を図って行く。						
	担当課	農政課						
	備考							

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
7	新規就農者数 (年間) (独立自営又は親元就農等で新たに農業を開始した農業者数)	9人/年	目標値	10人/年	10人/年	11人/年	11人/年	12人/年
		最終目標値	実績値	11人/年	12人/年	7人/年		
		12人/年	達成度	A	A	C		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>栃木県農業振興公社や市農業委員会と共に新規就農者を獲得すべく、新たな取り組みとして「新規就農フェア」に参加し、参加者に対して新規就農へ向けたの相談対応を実施したが、就農者が分散し、下野市では思うように人数を確保することが出来なかった。今後は上記フェアへの積極的な参加や各関係機関連携のうえ、必要な情報（研修先、農地、住居等）の発信と市独自支援を積極的に実施して行く。</p>						
担当課	農政課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
8	担い手への農地集積率 (市内耕地面積に対する認定農業者等の農地利用集積面積の割合)	50%	目標値	52%	54%	56%	58%	60%
		最終目標値	実績値	53%	57%	59%		
		60%	達成度	A	A	A		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>地域の担い手となる認定農業者等への集積計画である人・農地プランに基づき、集積目標を達成することが出来た。法人化を推進し規模を拡大する農家がある一方で高齢化や後継者不足により規模を縮小をする農家も増えている事など課題もあるが、今後も農業委員会、農業公社と連携を図りながら一層集積を推進して行く。</p>						
担当課	農政課							
備考								

基本目標② 「東京圏からの新しいひとの流れをつくる」

数値目標	基準値	実績値				目標値 令和6年
		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
転入者数	2,339人	2,277人	2,366人	2,366人		2,572人
【数値目標の説明】 合併後は2,400人を上回る転入者数であったが、最近の5年間の転入者数の平均は2,331人である。毎年度2%の転入者増を目標に、5年後10%の転入者増を目指す。	令和4年（1月～12月）の転入者数は2,366人であり、昨年と同数であった。 【令和4年住民基本台帳年報より】					
東京圏からの転入者数	468人	476人	462人	494人		514人
【数値目標の説明】 東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）からの転入者数は、過去5年間の平均が462人であった。毎年度2%の転入者増を目標に、5年後10%の転入者増を目指す。	令和4年（1月～12月）の東京圏からの転入者は494人であり、昨年より32人の増であった。					
観光入込客数	231万人	1,797,291人	1,939,975人	2,185,926人		271万人
【数値目標の説明】 市内観光施設・イベントへの来訪者数（観光庁の観光入込客数）。	新型コロナウイルス感染症の影響のなか、天平の丘公園を会場とするイベントでは、第43回天平の花まつり及び第25回天平の芋煮会が中止となったが、第4回しもつけ燈桜会（令和4年8月）は、会場内の飲食を禁止するなどの制限を設け開催することができた。また、市内で一番の観光客数を見込む道の駅しもつけにおいても、これまでの時短営業を通常営業に戻すなど、観光客数の回復が進む要因となった。					

重要業績評価指標（KPI）	基準値	年度目標値					
		年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
9 移住相談件数	39件	目標値	60件	70件	80件	90件	100件
	最終目標値	実績値	12件	51件	72件		
	100件	達成度	D	C	B		
令和4績値の分析 及び今後の取組	全国規模の移住フェア等がコロナ禍前の規模で開催されたことにより相談件数の増加につながった。 また、テレワークで働く東京圏在住者からの相談が増えたことから、本市が移住希望者の移住先の選択肢として認知されていることがうかがえる 今後も本市の魅力や、テレワーク移住促進補助金など本市独自の制度を周知し、移住先の選択肢としてさらに認知されるよう広くPRしていく。また、令和4年5月に開設した市民活動センター内に移住相談窓口を設置したため、庁舎と併せて2つの窓口を活用しながら相談件数を増やしていく。						
担当課	総合政策課						
備考							
重要業績評価指標（KPI）	基準値	年度目標値					
10 土地区画整理事業整備面積 （全体面積 502.7ha） （事業費ベース進捗率による 整備面積）	477.8ha	目標値	482.8ha	485.4ha	491.4ha	497.4ha	502.7ha
	最終目標値	実績値	482.8ha	485.1ha	487.0ha		
	502.7ha	達成度	A	B	B		
令和4年度の取組と 実績値の分析 及び今後の取組	仁良川地区土地区画整理事業区域において、道路築造・宅地造成・物件移転補償などを実施した結果、前年度比1.9ha増の487.0haとなった。今後も目標値である502.7ha達成のため、引き続き住居環境の向上と良好な宅地の供給を図り目標達成に向けて事業促進を図っていく。						
担当課	区画整理課						
備考	基準値は、H30年度時点での整備面積（見込み）である。						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
11	定住促進住宅新築等補助件数 (対象要件を満たす定住促進住宅新築等補助の延件数)	延17件	目標値	延13件 (年間13件)	延28件 (年間15件)	延43件 (年間15件)	延58件 (年間15件)	延73件 (年間15件)
		最終目標値	実績値	延14件 (年間14件)	延30件 (年間16件)	延45件 (年間15件)		
		延73件	達成度	A	A	A		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	市HPへの制度活用に関するQ&Aの掲載、移住者向けサイトへの情報の掲載など、幅広い情報提供に努めた。また、総合政策課と連携し、移住促進イベントにおいて制度のPRを行った。令和4年度は15世帯(53人)分の移住による住宅取得費の一部を支援した。また、制度を一部改正し、令和5年度からは中古住宅や建替住宅を対象に加えるとともに、空き家バンク登録住宅を加算要件に追加することとした。 今後も継続して制度を周知していく。						
担当課	都市計画課							
備考	基準値は平成30年度までの延件数。							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
12	永住促進保留地等購入補助件数	0件	目標値	5件 (延5件)	5件 (延10件)	5件 (延15件)	5件 (延20件)	5件 (延25件)
		最終目標値	実績値	9件 (延9件)	14件 (延23件)	7件 (延30件)		
		5件	達成度	A	A	A		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	定住促進制度と同様に周知をした。仁良川土地区画整理事業地内において、7世帯(18人)分の保留地購入費の一部を補助した。 今後も継続して制度を周知していく。						
担当課	都市計画課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
13	空き家バンク登録件数	延8件	目標値	延10件 (年間1件)	延16件 (年間6件)	延22件 (年間6件)	延28件 (年間6件)	延35件 (年間7件)
		最終目標値	実績値	延10件 (年間1件)	延10件 (年間0件)	延11件 (年間1件)		
		延35件	達成度	A	C	C		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	広報やHPにて空き家バンク制度と各種補助金をPRした。また、令和3年度に「下野市空き家バンク登録推進奨励金交付制度」を創設し、令和4年度は1件のバンク登録があり奨励金を交付した。また、栃木県宅建協会県南支部と協議のうえ制度を一部改正し、令和5年度からは市街化調整区域の物件についても空き家バンクへの登録対象とした。 令和5年度は、固定資産税納税通知書に空き家バンク制度PRチラシを同封する等、新たな周知にも取り組んでいる。今後も継続して制度を周知していく。						
担当課	都市計画課							
備考	基準値は平成30年度までの延件数。令和元年度は年間1件。							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
14	住民1人当たり都市公園面積 (市内の都市公園合計面積を市内人口で除した面積)	15.65㎡	目標値	16.88㎡	16.88㎡	16.88㎡	16.88㎡	17.00㎡
		最終目標値	実績値	16.89㎡	16.92㎡	17.04㎡		
		17.00㎡	達成度	A	A	A		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	公園施設の危険箇所等について迅速に対応し適正な維持管理に努めた。 当課において新設する公園整備計画がないため、既存施設等を良好な状況で維持管理していく。						
担当課	都市計画課	実績値の算出方法：年度末における市内の都市公園面積÷年度末における住民基本台帳人口 令和4年度実績値：17.04(㎡)=1,018,190(㎡)÷59,741(人)						
備考	※令和6年度末までに行う公園整備数及び面積：3公園(仁良川地区土地区画整理事業)、5786.27㎡							

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
15	下野市観光協会 HPアクセス数 (観光協会ホームページの年間アクセス数)	33万6千件	目標値	33万7千件	34万4千件	35万1千件	35万8千件	36万6千件
		最終目標値	実績値	23万6千件	21万3千件	25万9千件		
		36万6千件	達成度	C	C	C		
		令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>新型コロナウイルス感染症の影響のなか、第4回しもつけ燈桜会（令和4年8月）は、会場内の飲食を禁止するなどの制限を設け開催し、第44回天平の花まつり（令和5年3・4月）は、飲食スペースの設置などの感染症対策を実施したうえで、カラオケなどのステージを中止し、規模を縮小した形で開催することができた。（第43回天平の花まつり・第25回天平の芋煮会は中止）イベントの再開に伴い、HPアクセス数も増加に転じた。</p> <p>今後は、観光協会が直接関わるイベントだけでなく、市内の他のイベントについても、当HPでリンクを貼るなど情報を発信することし、連携を密に、さらなる市の魅力発信につなげていく。</p>					
	担当課	商工観光課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
16	道の駅しもつけ利用者数 (買い物等の市内外の年間利用者数)	215万人	目標値	220万人	230万人	240万人	245万人	250万人
		最終目標値	実績値	202万人	227万人	244万人		
		250万人	達成度	B	B	A		
		令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により時短営業を行った影響もある中で、利用者数が目標値を達成することができなかった。物見塔周辺の再整備が終了したことや令和4年度に完成した駐車場の増設工事により、今後は来場者の増加が見込める。</p>					
	担当課	商工観光課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
17	関係人口関連事業へのイベント参加者数	—	目標値	50人	60人	70人	150人	200人
		最終目標値	実績値	90人	78人	81人		
		200人	達成度	A	A	A		
		令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>ご当地アニメ「サクラノチカイ」の聖地を巡る、聖地巡礼バスツアーを2回開催し、延25名が参加した。またファンクラブ限定座談会（オンラインと併用）を3回実施し延12名が参加した。「地域に関わる入門講座in下野市」と題した関係人口創出イベントを都内で1回、市内で2回開催し、計26名が参加した。また、県外の大学生インターンを3名招き、本市の地域の課題解決に取り組む事業に協力してもらった。</p> <p>移住定住・関係人口創出をミッションとして活動している地域おこし協力隊が企画した市外・県外向けのオンライン交流会を3回実施し、延15名が参加した。</p> <p>令和4年度はリアルイベントを多く実施することが出来、同じ参加者が何度も本市に足を運んでいただいた。令和5年度も継続的な関係を築けるようなイベントを実施して関係人口を増やしていきたい。</p>					
	担当課	総合政策課						
	備考							
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
18	シティプロモーションサイトへのアクセス数 (シティプロモーションサイト「プチハピしもつけ」への年間アクセス数)	27,600件	目標値	28,200件	28,800件	29,400件	30,000件	30,600件
		最終目標値	実績値	26,917件	23,271件	40,902件		
		30,600件	達成度	B	B	A		
		令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>市内イベントが再開してきたこともあり、イベント関連の検索から「プチハピしもつけ」へアクセスする割合が大幅に増えた。また、YouTubeやSNSで都内在住者にweb広告を展開していたことで、今年度は東京都からのセッションが47都道府県で最も多かった。さらに、本事業で作成したかんぴょうのPR動画や「手ぶらでキャンプ」の紹介動画を民放などの放送局に素材提供したことによる効果もあり、目標値を大幅に上回った。</p>					
	担当課	総合政策課	セッション：Webサイトにアクセスしたユーザーが、サイト内閲覧から回遊、そして離脱するまでの一連の行動					
	備考							

基本目標③ 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

数値目標	基準値	実績値				目標値 令和6年
		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
下野市で今後も子育てをしていきたいと思う保護者の割合	96.3%	98.2%	98.1%	98.4%		97.0%
【数値目標の説明】 乳幼児健康診査のアンケート調査において実施。	目標値を上回る結果であった。 ※乳幼児健康診査のアンケート調査における「この地域で、今後も子育てをしていきたいですか」という問いに対して「そう思う」もしくは「どちらかといえばそう思う」と回答した割合。					
出生数	403件	396件	410件	—	—	453件
【数値目標の説明】 戸籍法の届出により届け出られた出生の数（厚生労働省人口動態統計）	令和4年度の人口動態統計は令和5年9月頃に公表予定					
結婚件数	235件	266件	—	—	—	260件
【数値目標の説明】 年間に届出のあった婚姻した日本人の件数（厚生労働省人口動態統計）	令和3年度の市町村別婚姻件数は令和5年6月現在未公表					

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	年度目標値					
		年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
19 両親学級参加率 (妊娠届出者に対する両親学級の参加率)	59.3%	目標値	59.7%	59.7%	59.8%	59.9%	60.0%
	最終目標値	実績値	59.7%	60.2%	64.2%		
	60.0%	達成度	A	A	A		
令和4年度の実績値の分析及び今後の取組	令和4年度（R4.4.1～R5.3.31）に赤ちゃん訪問を受けた産婦（430人）のうち、これまでに市または病院で両親学級に参加した人は64.2%（276名）であった。※実績はR5.4.24時点報告分 両親学級に参加する必要があると判断した妊婦に対しては、教室の参加勧奨を行うため電話連絡を行い、妊婦の状況を確認し、ニーズに応じて情報提供を行っている。 集団教室においては、感染症対策のため、定員を設けていることから、集団教室を希望された方で申し込みできなかった方については、個別相談を案内している。						
担当課	健康増進課						
備考							
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	年度目標値					
		年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
20 不妊治療助成件数 (保険対象外となる不妊治療及び不育症治療を受けた方への治療費の一部助成の年間件数)	119件	目標値	119件	119件	119件	119件	119件
	最終目標値	実績値	90件	158件	86件		
	119件	達成度	C	A	C		
令和4年度の実績値の分析及び今後の取組	令和4年度より不妊治療の保険診療が開始されたことにより、令和4年度については、保険適用外となる令和3年度に終了した治療及び令和3年度以前に治療を開始し、令和4年度に終了した治療を対象に助成を実施した。保険適用後の助成制度について、令和4年度に見直し・検討を行い、令和5年度より新たな助成事業(保険適用の治療：自己負担額の10割助成、上限10万円。保険適用外の治療：自己負担額の1/2助成、上限15万円。)を開始することとなった。新たな助成制度について、ホームページ、広報及び不妊治療実施医療機関に周知を図っていく。						
担当課	健康増進課						
備考							

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
21	産後ケアサービス提供施設数 (生後4か月未満の母子が利用できる産後ケアサービスの事業所(医療機関等)の数)	—	目標値	6施設	6施設	6施設	6施設	6施設
		最終目標値	実績値	3施設	7施設	9施設		
		6施設	達成度	C	A	A		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>宿泊型と通所型は、医療機関と助産院で計8施設、訪問型は県助産師会と契約しており、目標を達成している状況である。令和4年度は1施設が契約解除となり、新たに3施設(医療機関)と契約している。</p> <p>妊娠届や両親学級時には契約以外の病院や助産院でも契約可能であることを周知しているが、引き続き、妊産婦のニーズに合わせて契約を進め、利用しやすい環境づくりに努めていきたい。</p>						
担当課	健康増進課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
22	放課後児童クラブ待機児童数	0人	目標値	0人	0人	0人	0人	0人
		最終目標値	実績値	0人	0人	0人		
		0人	達成度	A	A	A		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>学童保育室の環境整備として、令和4年度は、南河内小中学校学童保育室、細谷小学童保育室が開設され児童の受け皿が確保できた。</p> <p>今後は、狭隘化が進んでいる学童保育室についての対策を検討し、児童が安心して利用できる環境づくりに努める。</p>						
担当課	こども福祉課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
23	保育所待機児童数 (保育施設への入所を希望したが、入所できず待機している児童数(4月1日現在))	3人	目標値	0人	0人	0人	0人	0人
		最終目標値	実績値	0人	0人	0人		
		0人	達成度	A	A	A		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>薬師寺保育園の定員を令和4年度に50名から60名に増員し、薬師寺幼稚園分園を対象年齢0～2歳児、定員30名として開園した。また、薬師寺保育園の増改築により令和5年度は定員を70名に増員する。0～2歳児の提供体制が不足がちになっているので、私立保育所等や公立保育所の保育士確保により受け皿を拡充していく必要がある。</p>						
担当課	こども福祉課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
24	児童館利用者数 児童館の年間利用者数	30,046人	目標値	30,450人	30,840人	31,230人	31,620人	32,000人
		最終目標値	実績値	18,348人	23,463人	25,080人		
		32,000人	達成度	C	C	C		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>令和4年度の利用者数は、令和3年度に比べ増加したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止、及びまん延防止への対応として入館を制限するとともに、各種事業の実施も控えたため、目標値には届かなかった。</p> <p>今後は、中高生も利用しやすい環境づくりに努め、児童館の設置目的である子どもたちの健全な育成を図ることとする。</p>						
担当課	こども福祉課							
備考								

基本目標④ 「安心なくらしを守り幸せを実感できるまちをつくる」

数値目標	基準値	実績値				目標値 令和6年
		令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	
幸せだと感じている市民の割合	77.0%	—	—	—		80.0%
【数値目標の説明】 市民意識調査における「幸福感」の項目で、幸せだと感じていると回答した人の割合	意識調査は令和5年度実施予定					
住みやすいと感じる市民の割合	86.7%	—	—	—		90.0%
【数値目標の説明】 市民意識調査における「下野市について」の項目で、住みやすい・どちらかといえば住みやすいと回答した人の割合	意識調査は令和5年度実施予定					

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	年度目標値					
		年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
25 健康マイレージ参加者数 市健康マイレージ事業への参加者数	452人	目標値	463人	475人	486人	497人	510人
	最終目標値	実績値	436人	571人	627人		
	510人	達成度	B	A	A		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>参加方法は、新型コロナウイルス感染症の流行により、昨年度と同様に個人の健康活動を起こすことのみで参加可能とした。そのため、参加のハードルが下がったため、昨年度と比較し参加者の増加が見られたのではないかと考えられる。</p> <p>毎年全体の参加者は増加しており、健康活動のきっかけづくりとなっていると考えられるが、初めて事業に参加する方が全体の20%程度でその割合は毎年減少がみられている。令和5年度は初参加者を増やすため、若い世代へのアプローチを行い、参加者の増加を促進していく。また、健康マイレージに継続して参加している割合が高いため、マイレージの参加が健康づくりのきっかけのみならず、引き続き継続することにつながるよう事業の工夫を図っていく。</p>					
担当課	健康増進課						
備考							
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	年度目標値					
26 地域ふれあいサロンの設置数 市内の地域ふれあいサロン数	40か所	目標値	40か所	60か所	65か所	70か所	75か所
	最終目標値	実績値	55か所	62か所	59か所		
	75か所	達成度	A	A	B		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>・令和4年度は新型コロナウイルス感染症の第7波の影響により、特に7月から9月にかけて活動を自粛するサロンも多くあった。</p> <p>・8月5日から8月31日までの期間、栃木県において「BA・5対策強化宣言」が発令されたため、市高齢福祉課から各地域ふれあいサロン代表者宛てに、感染防止対策の徹底に関する通知文を送付した。</p> <p>・令和4年度は新規サロンが4か所開設された一方、新型コロナの影響もあり活動休止となるサロンも出てしまった。</p> <p>・今後もサロンの更なる充実を図るため、特にサロンの無い地域における新規開設に力を入れて取り組んでいく。</p>					
担当課	高齢福祉課						
備考							
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	年度目標値					
27 認知症サポーター数 (認知症サポーター養成講座の受講者数)	延7,881人	目標値	延9,800人 (年間500人)	延10,350人 (年間550人)	延10,900人 (年間550人)	延11,450人 (年間550人)	延12,000人 (年間550人)
	最終目標値	実績値	延9,389人 (年間92人)	延9,600人 (年間211人)	延9,792人 (年間192人)		
	延12,000人	達成度	B	B	B		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>・認知症の基礎知識や認知症家族に対する支援を学ぶ認知症サポーター養成講座を地域サロンや大学、図書館等で14回開催し、266人が受講うち192人が新規の受講者だった。</p> <p>・受講者はチームオレンジしもつけ（認知症施策のボランティア）として、市内で開催される認知症カフェ（オレンジカフェ）等で活動している。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、小・中学校が講座の開催を控えていることもあり、コロナ禍前の受講者数の水準には達していない。感染状況に応じながら養成講座を積極的に周知していく。</p> <p>・認知症施策推進のため、認知症本人や家族、地域のニーズを把握できるよう、チームオレンジしもつけの活動の幅の拡充を図り、より地域に馴染む関係構築を図る。</p>					
担当課	高齢福祉課						
備考		基準値は平成30年度までの延人数。令和元年度は年間1,416人。					

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
28	就労系サービス利用者数	142人/月	目標値	158人/月	164人/月	170人/月	175人/月	180人/月
		最終目標値	実績値	174人/月	189人/月	200人/月		
	(就労移行支援、就労継続支援(A型)、就労継続支援(B型)の年間実利用者の月平均人数)	180人/月	達成度	A	A	A		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	障がい者が適性に就労できるよう、関係機関と連携し就労支援の推進に努めたことにより、就労移行支援、就労継続支援B型事業所の利用者が増加した。今後も引き続き関係機関との連携を図り、一般就労につながるよう支援を実施していく。						
担当課	社会福祉課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
29	低所得者への自立に向けた支援(自立促進)数	14世帯	目標値	16世帯	17世帯	18世帯	19世帯	20世帯
		最終目標値	実績値	14世帯	14世帯	26世帯		
	(就労支援等を行い、就労し自立を図った世帯の数)	20世帯	達成度	B	B	A		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	新型コロナウイルスの影響により低迷していた管内の有効求人倍率が1.00を上回り回復基調となる中、R4年度から増員した就労支援員による伴走型支援として相談、ハローワーク同行・助言等を行った結果、自立を図ることが出来た世帯は目標値を上回る結果となった。今後も引き続きハローワーク等関係機関と連携しながら就労による自立に向けた支援を実施していく。						
担当課	社会福祉課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
30	学ぶ意欲と自己有用感の評価点(小学校)	3.23	目標値	3.23	3.23	3.24	3.24	3.25
		最終目標値	実績値	3.11	3.19	3.17		
	(とちぎっ子学習状況調査を評価点化したもの※最高値4.00)	3.25	達成度	B	B	B		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	・教育研究所主催「パワーアップ講座」や指導主事の学校訪問による「主体的に学習に取り組む態度」の学習評価に関する研修(令和4年8月、11月、12月)を実施した。実績値を算出するための指標とした13項目のうち、昨年度より上昇した項目は5項目に止まった。昨年度に比べ一番減少が大きかった「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している。」の項目については、平成30年度と比較すると、小学校4、5年生共に0.1ポイント以上減少している。年々上昇していた「人と話すことは楽しい。」の項目も、0.02ポイントとわずかだが減少した。自分に自信をもち様々なことに挑戦していけるよう、自己肯定感を高める指導を心掛けていく必要がある。さらに、パワーアップ講座や教育課程事前説明会などの研修内容を充実し、教職員の資質向上を図るとともに、生徒たちへの指導力を高めていきたい。						
担当課	学校教育課							
備考		○令和4年度 全国学力・学習状況調査(市内学校 小学校第6学年相当学年)とちぎっ子学習状況調査(市内学校 小学校第4・第5学年相当学年):令和4年4月19日(火)実施						
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
31	学ぶ意欲と自己有用感の評価点(中学校)	3.07	目標値	3.07	3.08	3.09	3.09	3.10
		最終目標値	実績値	3.05	3.10	3.16		
	(とちぎっ子学習状況調査を評価点化したもの※最高値4.00)	3.10	達成度	B	A	A		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	・教育研究所主催「パワーアップ講座」や指導主事の学校訪問による「主体的に学習に取り組む態度」の学習評価に関する研修(令和4年8月、11月、12月)を実施した。実績値を算出するための指標とした13項目のうち、昨年度より上昇した項目は2項目に止まった。「難しい問題にであうとよりやる気が出る。」の項目については、昨年度に比べ一番減少が大きかったが、平成30年度と比較すると0.03ポイント上昇しており、長い目で見ると上昇している。引き続き、自分に自信をもち様々なことに挑戦していけるよう、自己肯定感を高める指導を心掛けていく必要がある。さらに、パワーアップ講座や教育課程事前説明会などの研修内容を充実し、教職員の資質向上を図るとともに、児童たちへの指導力を高めていきたい。						
担当課	学校教育課							
備考		○令和4年度 全国学力・学習状況調査(市内学校 中学校第3学年相当学年)とちぎっ子学習状況調査(市内学校 中学校第2学年相当学年):令和4年4月19日(火)実施						

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
32	講座・講演会の年間受講者数 (生涯学習文化G/生涯学習情報センター・公民館・図書館主催講座の年間受講者数)	9,350人	目標値	9,350人	9,400人	9,500人	9,600人	9,700人
		最終目標値	実績値	1,585人	4,516人	7,709人		
		9,700人	達成度	D	D	B		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	【R4取組】各種講座・講演会については、ほぼ計画どおりに開催することができた。 【分析】適切な新型コロナウイルス感染対策を施しながら講座等を開催し、受講者数の拡大に務めた。目標値には及ばないものの、受講者数の増加を図ることができた。 【今後取組】新型コロナウイルス感染対策が緩和されることから、ニーズを把握しながら、各種講座・講演会を企画・開催し、さらなる受講者数の増を図る。						
担当課	生涯学習文化課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
33	スポーツ施設の利用者数 (スポーツ施設の年間利用者数)	637,000人	目標値	640,600人	644,200人	647,800人	651,400人	655,000人
		最終目標値	実績値	478,829人	547,093人	715,238人		
		655,000人	達成度	C	B	A		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	南河内テニスコートの拡張整備が終了し本格オープンした。工事により利用停止していた南河内小中学校の学校開放が同校の開校により利用再開した。 別処山公園のバックネット裏の屋根張り替え工事及びマウンド補修工事を実施した。 令和4年度は国体開催により一部閉鎖した施設及び期間があったが、新型コロナウイルス感染症の影響による施設閉鎖が無く、大きな活動制限も少なかったことから、これまでの自粛の反動から利用者数が大きく増え目標を上回った。引き続き各施設の適正管理に務め、利用者が安心して利用できる安全な施設を提供することで利用促進を図る。						
担当課	スポーツ振興課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
34	グリムの森・グリムの館の来園者数	157,523人	目標値	79,800人	161,600人	163,600人	165,600人	167,600人
		最終目標値	実績値	15,720人	38,033人	151,280人		
		167,600人	達成度	D	D	B		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	【R4取組】施設利用の活性化を図るため、利用ニーズのある遊具等をプロポーザル方式にて設置した。「お菓子の家」については、予想よりも多くの利用者と収益の拡大につながった。 【分析】新型コロナウイルス感染対策を取りながら、事業を少しずつ実施したが目標来園者数にはやや達成しなかった。 【今後取組】新型コロナウイルス感染症が緩和されることから、中止や縮小していた事業を従前に戻すほか、複合遊具の新設及び人気の高い「お菓子の家」を呼び水として、さらなる来園者の増を図る。公園利用者の安全のために、園内樹木の剪定及び伐採を行うなど、適正な管理に努める。						
担当課	生涯学習文化課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
35	下野薬師寺歴史館・しもつけ風土記の丘資料館入館者の合計	30,500人	目標値	30,500人	30,875人	31,250人	31,625人	32,000人
		最終目標値	実績値	5,222人	13,146人	16,700人		
		32,000人	達成度	D	D	C		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	下野薬師寺歴史館については、空調入れ替え工事のため4月～5月を臨時休館とした。感染症防止対策のため、講演会や大規模イベントの実施が難しい状況にある中で、感染症対策を施しながら、利用者の学習機会の確保に務めた。 今後は、より多くの来館者が訪れるよう、庁内の感染症対策に応じて、講演会や大規模イベントを実施する。						
担当課	文化財課							
備考								

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
36	下野薬師寺歴史館・しもつけ風土記の丘資料館ボランティア会員数	75人	目標値	75人	77人	80人	82人	85人
		最終目標値	実績値	67人	63人	51人		
		85人	達成度	B	B	C		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	文化財観覧ガイド養成講座を開催予定であったが、感染症予防対策のため開催を中止した。コロナによる養成講座や活動休止などに起因して、新規登録者の増加が見込めない状況にある。庁内の感染症対策に応じて、徐々に講座や活動を再開していく。						
担当課	文化財課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
37	自主防災組織設置数	8組織	目標値	11組織	12組織	13組織	15組織	15組織
		最終目標値	実績値	11組織	11組織	13組織		
		15組織	達成度	A	B	A		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	2自治会について、組織化することができた。このほか相談を受けている3自治会についても継続して支援を行う。また、自主防災の組織化について、継続して自治会長会議等で説明を行うとともに、まちづくりリクエスト講座等での啓発を行っていく。						
担当課	安全安心課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
38	デマンド交通利用者数 (下野市デマンド交通「おでかけ号」の年間延利用者数)	22,401人 (乗継含む)	目標値	23,520人	18,800人	19,740人	20,680人	21,620人
		最終目標値	実績値	18,823人	19,127人	19,329人		
		21,620人	達成度	B	A	B		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	下野市地域公共交通計画（計画期間：令和3年度～7年度）に基づき、車両のダウンサイジング、運行台数増台、乗継廃止、A1配車システムの導入など運行形態を変更し、利用促進を図った。 令和4年4月から1市2町（下野市・上三川町・壬生町）間での相互利用の本格運行を開始し、利用登録者数と利用者数の増につなげることができた。 令和5年4月からはベビーカーやシルバーカーの持ち込みを可能としたことから、一層のサービス向上につながる。また、利便性向上のため相互利用の乗継スポットを増設し、引き続き利用促進を図りたい。						
担当課	安全安心課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
39	1市2町広域連携バス乗降者数 (1市2町広域連携バス「ゆうがおバス」の年間延利用者数)	—	目標値	24,000人	25,920人	27,840人	29,760人	31,680人
		最終目標値	実績値	22,536人	23,507人	23,500人		
		31,680人	達成度	B	B	B		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	令和4年4月から石橋駅～獨協医科大学病院の路線が、関東自動車による本格運行となった。 今後は、壬生町や上三川町のデマンド交通とも連携をとりながら、利用しやすい持続可能な地域の公共交通として定着を図る。						
担当課	安全安心課							
備考								

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
40	市民活動補助事業から自立し自主事業に移行した団体数 (市民活動補助事業制度を経由から自立し、自主事業を行う団体数であり、各年2団体の移行を見込)	23団体	目標値	25団体	27団体	29団体	31団体	33団体
		最終目標値	実績値	28団体	32団体	36団体		
		33団体	達成度	A	A	A		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	地域課題の解決に取り組む市民活動団体の活性化と自立化を支援するため、平成24年度に開始した市民活動補助事業を継続した。補助団体から自主事業へ移行した団体は令和4年度末時点で延べ36団体であった。令和4年度に新設された市民活動センターも活用し、新規事業に取り組む団体が今後も継続的に増加するよう制度のPR、活動の支援を図っていく。						
担当課	市民協働推進課							
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
41	市ホームページアクセス数 (市ホームページの年間アクセス数)	108万件	目標値	109万件	109万件	110万件	110万件	111万件
		最終目標値	実績値	134万件	131万件	118万件		
		111万件	達成度	A	A	A		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	最新の情報を掲載し、市民が必要とする情報を継続して提供した。特に新型コロナウイルスに関する情報は迅速な更新に努め、市からの大切なお知らせとしてトップページに掲載し、目に留まりやすくなるよう工夫した。 令和5年3月にはデザインをリニューアルし、レスポンス化によりスマートフォンやタブレット端末で表示した際の可読性向上を図った。 令和2年の新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言の頃から比較し、アクセス数が減少傾向にあるが、感染拡大状況や予防接種等が落ち着いてきたことによるものと思われる。						
担当課	総合政策課	新型コロナの影響により、平常時と比較し引き続きアクセス数が高い傾向である。						
備考								
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	年度目標値					
			年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
42	共同連携事業数 (広域連携事業の事業数)	71事業	目標値	71事業	75事業	76事業	77事業	77事業
		最終目標値	実績値	74事業	78事業	78事業		
		77事業	達成度	A	A	A		
	令和4年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	第二期小山地区定住自立圏共生ビジョンにおいて、41の連携事業に取り組み、情報交換会等において、事業ごとに設定した成果指標の達成度等について検証したほか、効果的な連携のための議論を交わした。 また、下野市・上三川町・壬生町連携会議に関連して、相互連携状況の確認及び新たな連携事業の検討を行うなど、共通した課題を解決するための各種広域連携を継続している。 そうした各連携の継続等により、目標値の達成につながっていると思われる。 今後も、連携による事業の効率化・サービスの充実等を図り、地域課題の解決、定住促進・地域活性化につなげる。						
担当課	総合政策課							
備考								